

### 3. 企画展示事業（平成26年度の展覧会）

#### 第70回企画展「発掘された日本列島2016」及び地域展示

- 1、会 期 平成28年8月6日（土）～9月11日（日） [開館日数32日間]
- 2、会 場 大津市歴史博物館 企画展示室A・B  
企画展示室A：中核展示（全国巡回展示）  
企画展示室B：地域展示「渡来した人々の足跡—大津の古墳群と集落跡—」
- 3、主 催 文化庁・大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞・  
全国新聞社事業協議会
- 4、協 力 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会・全国埋蔵文化財法人連絡協議会・  
公益財団法人元興寺文化財研究所・共同通信社
- 5、後 援 全国史跡整備市町村協議会・NHK 大津放送局・BBC びわ湖放送・エフエム滋賀・  
エフエム京都
- 6、観覧料 一般800円（640円） 高大生400円（320円） 小中生200円（160円）
- 7、展示作品 中核展示：36遺跡（約750点） 地域展示：89件（約400点）
- 8、入館者数 4,555名 うち有料観覧者 2,402名（歴博カード会員観覧者338名を含む）

- 9、関連講座 ◎れきはく講座（会場：大津市歴史博物館講堂）
  - 8月6日（土） 「高島鴨稻荷山古墳と継体大王」  
講師：東 潮（徳島大学名誉教授） 参加人数143名
  - 8月20日（土） 「渡来人の集落とお墓 —最近の市内の調査成果より—」  
講師：西中 久典（大津市教育委員会文化財保護課） 参加人数130名
  - 8月27日（土） 「発掘された日本列島2016 徹底解説」  
講師：近江 俊秀（文化庁文化財部記念物課埋蔵文化財部門） 参加人数122名
  - 9月4日（日） 「近江に渡来した人々の活躍」  
講師：吉水 眞彦（大津市教育委員会文化財保護課） 参加人数110名
- ◎ギャラリートーク（企画展示室）
  - 8月10日（水） 企画展示解説 講師：福庭万里子（本館学芸員） 参加人数10名
  - 8月24日（水） 企画展示解説 講師：福庭万里子（本館学芸員） 参加人数20名

#### 10、図録等販売数

中核展示公式図録（文化庁編・共同通信社刊行 A4版72頁オールカラー）	290冊
地域展示図録（大津市歴史博物館発行 A4版48頁うち32頁カラー刷り）	454冊
企画展関連グッズ ミニチュアかまど柄手ぬぐい（1色刷り・本染め）	131点

#### 11、展覧会の成果と問題点

##### 【内容面】

- ・本展示では、文化庁主催の全国巡回展示「発掘された日本列島2016」の会場として中核展示を開催し、併せて地域展示を開催した。中核展示は、全国の埋蔵文化財調査成果を紹介する目的で平成7年度より毎年開催されている巡回展である。当館での開催経緯については、平成26年度及び27年度の「平成28年度『発掘された日本列島』展の開催希望調書」に対して、平成28年度開催希望と回答したところ、開催会場として選定されたことによる。
- ・中核展示では、新潟県・六反田南遺跡の30点に及ぶ縄文土器を円形ひな壇に展示し、360度からの見学を可能にしたものをはじめ、大型遺物の露出展示が多かった。また、実際に手にとって触れることのできる資料（黒曜石）もあった。同展の滋賀県内での開催は20年ぶりのことであり、日本全国から出土した各時代の特徴ある遺跡や遺物を、市内及び県内に広く紹介する機会となった。
- ・地域展示では、大津市内の出土品を中心に、特に古墳時代の渡来人に関わるものを紹介することを目的として企画構成した。主な展示物を大津市内出土のミニチュア炊飯具形土器とし、市内出土分については、ほぼ全てを展示することができた。また、大阪府や奈良県の炊飯具形土器についても展示し、大津市内の出土品と比較して見られる機会とした。また、大津市の太鼓塚26号墳の石室写真を実寸大に拡大し、床面に貼り付け、その上に出土土器を並べることで、古墳の大きさを体感できる展示もおこなった。

- ・今回、文化庁の意向により、展示資料やパネルの写真撮影を全面的に可とした。撮影者が多く、好評であったが、一方でシャッター音に関する苦情や、露出展示を撮影する際の安全面など問題点もみられた。

## 【広報面】

- ・全国巡回展示のポスター・チラシに加えて、当館独自のポスター・チラシを制作し配布した。また、大津市内の小学校へは、小学生を対象として開催する夏休みおもちワークショップのチラシとともに小学生 1 人につき 1 枚がいきわたるよう配布した。
- ・本展覧会では、全国 5 館の開催館全てで使用できる招待券が広く配布されており、この招待券を使用しての来館も多く、広報にもなった。
- ・地域展示関連のミニチュアカマド柄手ぬぐいを制作したが、これを紹介する新聞記事もあった。

## 【集客・販売面】

- ・アンケートによると、過去に開催された「発掘された日本列島」観覧が 5 回以上と回答した来館者が 123 名（内訳は後掲）となり、列島展開催をきっかけとする来館者が一定数みられた。
- ・8 月 28 日から 9 月 3 日にかけて、京都市で世界考古学会議（WAC8）が開催されており、諸外国の考古学関係者が京都市近郊へ訪れていたが、この参加者による見学もあった。

## 【反省点と今後の課題】

- ・展示資料数が非常に多い点では来館者の満足度も高かった一方で、展示パネルについては遺跡の説明を中心とするものが多く、展示資料についての細かい解説パネルが足りていない面があった。来館者から、いくつかの展示品について「これはどのように使ったのか」「どのように見ればいいのか」という問い合わせもあり、来館者目線でわかりやすく伝えるキャプションを作っていかなければならない。
- ・れきはく講座を 4 回開催し、いずれも盛況であったが、小学生向けのイベントは例年開催している夏休みおもちワークショップのみとなった。今後は、展示内容と関連した体験イベントを増やし、親子連れや小中学生の集客に努めたい。
- ・展示室での写真撮影を今後許可していく場合、シャッター音が響かない設定にするとといったマナー周知等の対策が必要となる。

## 【アンケート】(抄) 全体回答者数 761 名

◎大津市歴史博物館への来館回数について。

①初めて：364 名 ②2～4 回：229 名 ③5 回以上：87 名 ④10 回以上：71 名

◎これまでの「発掘された日本列島」展の観覧回数について。（複数回答あり）

①初めて：479 名 ②2～4 回目：153 名 ③5 回以上：73 名 ④10 回以上 17 名

⑤ほぼ毎年見ている：33 名

◎以下、自由記入欄より内容ごとに抄録（一部中略のある他は原文のまま）

《展示内容に関するもの》

- ① 内容がバラエティに富んでいて大変良かった。（京都府・60 代・男性）
- ② 全国から発掘された土器をみることができよかったです。特に縄文土器の模様のきれいさに感動しました。（大津市・40 代・女性）
- ③ 今まで開催地が滋賀から遠く、行くことができなかったが、ようやく観覧できた。全国の最新の遺物を直接見ることができてとても満足している。（米原市・20 代・男性）
- ④ 資料写真や教材でしか出土品を見たことがなかったので、実物を見学することができて感動しました。（東近江市・20 代・男性）
- ⑤ 初めて来たんですが、一度見てみたかったじょうもん土器、弥生土器が見れてとてもうれしかったです。（大津市・小学生・女性）
- ⑥ 五・七・五のキャッチフレーズは面白い。（京都府・80 代・男性）
- ⑦ 学校の授業などで知らないものを知ることができたので良かったです。（奈良県・中学生・女性）
- ⑧ ミニチュア炊飯具がこれだけまとめて展示されると、大変迫力がありました。（大阪府・50 代・女性）
- ⑨ 古墳の中を写真で床にはってある展示が、実際にに入ったような気持ちを味わえて、とても面白かったです。（兵庫県・30 代・女性）
- ⑩ 私たちが住んでいる身近な所にも沢山の古墳などがあることに驚きました。（大津市・60 代・女性）
- ⑪ 近くにこんなたくさんさんの遺跡があるとは知らなかった。（大津市・50 代・女性）
- ⑫ 全国展は年々昔の出土品や調査報告が多くなっていくのが仕方ないながらも残念です。その分地域展のよ

うにターゲットをしぼって見せてくれるのが興味深く思えました。(奈良県・50代・女性)

- ⑬ 黒曜石にさわれてよかった。(大津市・30代・女性)
- ⑭ ギャラリートークが非常によかったです。またあれば来たいと思います。(大津市・70代・女性)
- ⑮ 素晴らしい展示品が多く、後半は疲れました。(京都府・70代・男性)
- ⑯ カマドのミニチュア途中で見あきてしまいました。(京都府・30代・女性)
- ⑰ 盛りだくさんで見学はややしんどかったですが、出土品が一堂に集められていて興味深く拝見できました。読まない人も多いとは思いますが、説明をもっと増やして頂きたいと思います。(大津市・60代・男性)
- ⑱ 時代の区分か地域の区分か理解しづらかった。(大津市・60代・男性)
- ⑲ 土師器と須恵器のちがい等基本的な説明もほしかった。(京都府・60代・男性)
- ⑳ どうやって使うのか子供にわかりやすい説明がもう少しあるとうれしいです。(大津市・40代・女性)
- ㉑ あまり考古学に詳しくない層も視野に入れてくださるなら、もう少しだけ説明があれば、より広い層がより興味を持てるのではないかなと感じました。(守山市・20代・女性)
- ㉒ もう少し長い期間の展示を希望します。せめて1ヵ月半ぐらいにしてほしかったです。(大津市・50代・女性)
- ㉓ 次は滋賀だけにしぼってやってもらいたい。滋賀のことをちゃんと知りたい。今回は全国でおもしろかったけど、東京とかはなれすぎてて、興味がなかった。(大津市・小学生・女性)

《写真撮影に関するもの》

- ① 写真撮影OKなのが良かったです。(滋賀県・50代・女性、その他兵庫県・男性など同意見多数)
- ② 展覧会の企画によっては写真撮影可能が増えていますが、マナーを守らず鑑賞者の妨げになっている方を多く見かけます(中略) マナーの啓もうを強く要望したいと思います。(京都府)
- ③ 見学者の声とカメラのシャッター音が非常に気になり不愉快でした。写真を撮りたい気持ちはわかりますが、殆ど全展示を撮影している人がいてずっとシャッター音に付き合わされたのです。ご検討ください。

《博物館の設備等について》

- ① 戦争展も前に見に来ました。夏休みに行きやすくて大変良いです。(京都府・40代・女性)
- ② 館の冷房が効きすぎていて寒いくらいでした。(安土町・40代女性 他同様の意見多数)
- ③ 初めてきたので企画展・常設展ともに拝見しました。これらを丹念に見て回ると2時間近くかかります。その間、館内で飲水も不可というのは、特に夏場など困ります。隣のカフェも16時には閉店していました。食べ物とはともかくとしても水分補給ができるような休憩・飲水スペースは設けるべきです。今どき多くの公立美術館・博物館では快適な鑑賞のためにいろいろ工夫をこらして(中略)集客に努力しています。(中略)発掘マニアや郷土史マニア以外の人達にもリピーターになってもらうためには、展示内容以外の部分でももっと魅力的なコンテンツを工夫し展開していくべきです。(京都府・50代・女性)
- ④ もっと積極的にマスメディア等を利用して広報すべき。(大阪府・50代・男性)